

第6回 水端かわまちづくりWGの開催結果

日 時	平成27年9月28日(月) 10:00~12:00
場 所	亀岡市役所 2階 202・203会議室
出席者	<p>京都学園大学バイ環境学部 教授 大西 信弘 グループ長          保津町自治会 自治会長 塚田 勇 副グループ長          桂川改修促進期成同盟 委員長 古谷 弘志          亀岡防犯推進委員連絡協議会 会長 十倉 康吉          伊豆田 進          農事組合法人ほづ 代表理事 酒井 省五          亀岡市体育協会 会長 關本 卓男</p> <p>(欠席6名)</p> <p>京都府南丹土木事務所 南丹農業改良普及センター 安川副所長          京都府南丹土木事務所 企画調整室 山田主事          " 河川砂防室 谷口副室長、中主査</p> <p>亀岡市 都市計画課 関口課長          " 都市整備課 大西係長          " 桂川・道路整備課 並河課長、澤田副課長、湯浅主査          " スポーツ推進課 野々口課長</p> <p>(欠席1名)</p> <p>(順不同、敬称略)</p>
内 容 (次第)	<p>1) 開 会          2) 議 事          ○水端かわまちづくりエリアの整備状況について          ○多目的広場整備に係る詳細検討について          ○その他施設(トイレ、駐車場、階段スタンド等)の整備について          3) 閉 会</p>
	

## 結 果

- 多目的広場整備については、事務局案を基本に施工を行うものとする。
- 整備後の運営・維持管理について、早期に定めていく必要があることを確認した。
- 次年度以降の整備については、トイレを最優先としつつ、管理方法を念頭に置きながら整備詳細を決定していくこととした。

(主な意見)

### 【多目的広場整備について】

- ・川側の水路は素掘りとなっているが、洪水の引き際に広場の土が流出しやすいのではないか。製品で囲っておいてはどうか。  
⇒それも考えたが、下流に昨年京都府が製品を入れたワンドを造っており、今年7月に発生した洪水時に埋まってしまった経過がある。製品で囲っても大きな洪水時に埋まる可能性があるため復旧がしやすいように素掘りで考えており、整備後の状況も注視していきたい。
- ・保津小橋付近の旧堤は破損しており通れない。通路として復旧させるのか。  
⇒旧堤部は管理通路としての整備を考えており、再構築を検討していきたい。
- ・多目的広場整備箇所は軟弱な地層であり、平成25年台風による洪水で泥も溜まっている。スポーツ広場にするには石等をなくし全面短く刈り込めるようにしなければならない。  
⇒現在草刈りを受託いただいている保津町自治会から、石あり、ぬかるみありで短く刈り込めない状況である事は聞いている。今回の20cm地表を鋤取り、砕石と真砂土で舗装するため草刈りはやりやすくなると思う。
- ・スポーツ広場の利用希望は少年サッカーなど多数ある。しかし、芝であるほうが望ましい。また、野球・ソフトボールは全面草地ではできない。  
⇒運営面を考慮し草地管理の方法を検討する必要がある。

### 【管理運営について】

- ・維持管理はどうするのか。運営管理・日常管理・災害復旧の三点について考えなくてはならない。  
⇒災害復旧については、条例による公園指定を行い公共施設としての災害復旧ができるようにしたいと考えている。運営管理・日常管理については今年度中に具体的に仕組みを作らなければならない。
- ・多目的広場については、今年度中に完成とのことだがその後自由使用にしておくのは問題があると思う。調整する機関は必須だと考える。また、野洲のように料金を取れるようにするのも手かもしれない。
- ・BBQ広場の運営維持管理については、大山崎等の例も参考になると思う。
- ・保津町で地域力再生事業を使い草刈り機の購入を考えている。来年3月までに体制を決めてほしい。

### 【今後の整備について】

- ・今後の整備箇所としては、トイレを最優先にしてほしい。現状でも、高水敷や花回廊・散策路の利用者は多い。また、バリアフリーでのエリア整備を計画し多目的トイレの設置予定もしているので、高水敷からトイレ設置場所である堤防へ登れるスロープが必要。
- ・今後の施設をつくるにあたり、ゴミを出されにくいような対策は必要。現状バーベキュー後のゴミが散乱している。また、階段スタンドを造る際には、間から草が生えてこないようにするか草刈りしやすいようにするべき。

